

国際協力入門セミナー 「行こう！大エジプト博物館のウラ側へ」オンライン開催！

—ツタンカーメンの遺物の保存修復に携わる日本人から聞く、
文化財保護における国際協力の魅力と意味—

国際協力機構関西センター（JICA 関西）では、2022年1月20日（木）に国際協力入門オンラインセミナー「行こう！大エジプト博物館のウラ側へ」を実施します。来年2022年は、ツタンカーメン王墓発見から100年、そしてヒエログリフ解読から200年を迎えるエジプトイヤーです。

JICA ではエジプトにおいて、古代の貴重な遺物等を展示する「大エジプト博物館」（現在建設中、以下写真）の建設から運用までを含む包括的な協力を実施しています。同博物館には、古代エジプトの王ツタンカーメンの遺物が展示されますが、この保存修復には、日本人で世界各地の壁画修復を行う専門家や奈良の仏像など日本の文化財の調査研究及び保存修復で活躍する専門家が技術移転に携わっています¹。

本セミナーでは、その JICA の専門家たちから、保存修復に活かされた日本の技術の紹介や、ツタンカーメンの至宝に携わる現場の緊張感、更には異文化の中で国際協力を進める上での工夫や奮闘、魅力を紹介いただき、その意味について参加者と考えます。セミナーのまとめでは、「なぜ文化遺産の保存修復技術支援が、エジプトへの支援として必要なのか？」について、観光立国エジプトの特徴や日本とエジプトの交流という視点から、理解を深めます。

今回の国際協力入門セミナーは、国際協力やエジプトに詳しくない方も気軽に参加いただけるよう、ツタンカーメンの遺物の写真や、エジプト市街地からの JICA 職員による生中継（予定）なども交え、日本の支援やエジプトの魅力について、お伝えします。

ぜひ、新聞等メディアを通じた市民への本セミナーの事前告知をしていただけますと幸いです。また、登壇者への事前及び当日の取材も可能ですので是非取材をご検討ください。当日の登壇者へのインタビューをご希望の方は、2022年1月13日（木）17:00 までに、下記担当者までご連絡ください。



建設中の大エジプト博物館（外観）



ツタンカーメン王のベッドを移送する様子

©JICA/GEM

¹ 「[大エジプト博物館保存修復センタープロジェクト](#)」（2008-2016）、「[大エジプト博物館合同保存修復プロジェクト](#)」（2016-2022）

【本件に関するお問い合わせ先】

JICA 関西 市民参加協力課(担当:青木) [TEL:078-261-0384](tel:078-261-0384) FAX:078-261-0357
 Mail:Aoki.Tomohiro@jica.go.jp

【イベント概要】

タイトル : 2021年度第2回国際協力入門セミナー「行こう! エジプト博物館のウラ側へ」

日時 : 2022年1月20日(木) 19:00-20:40 (100分)

定員 : 一般250名

申込 : 1月17日(月)までに以下のリンクからお申込みください。

<https://www.hyogo-ip.or.jp/torikumi/kouryukyouryoku/documents/kyouryokuseminar--moushikomi20220120.html>

対象 : どなたでもご参加いただけます。

参加費 : 無料(事前申込制)

会場 : オンライン会議システム Zoom を利用。

共催 : JICA、公益財団法人兵庫県国際交流協会(HIA)、JICA 海外ボランティアひょうご応援団、日本国際連合協会兵庫県本部、JICE、東京藝術大学

【プログラム】

時間帯	内容	登壇者
18:30-	開場	
19:00-19:25	第1部 エジプト現地から生中継! エジプトとピラミッドとツタンカーメン 大エジプト博物館(GEM)ってどんなところ?	羽岡職員 (JICA エジプト事務所)
19:25-20:10	第2部 大エジプト博物館、 保存修復、技術協力のはなし	北松職員(JICA 社会基盤部) 岡田専門家、谷口専門家
20:10-20:25	質疑応答	
20:25-20:40	まとめ どうして日本が支援するの? ~閉会	中村総括

【講師プロフィール】 ※いずれの講師も大エジプト博物館合同保存修復プロジェクトの専門家。

◆岡田 靖氏(東京藝術大学 准教授)

テクニカル・チーフ・アドバイザーおよび木製品保存修復部門担当

東京藝術大学大学院文化財保存学保存修復彫刻専攻で仏像文化財の保存修復を学び、博士(文化財)号を取得。2007~2009年に文化財保護・芸術研究助成財団の在外研修員としてイタリアにて木製彩色彫刻の保存修復研修を行う。2013年から大エジプト博物館保存修復センターのプロジェクトに参加し木製品保存修復の人材育成・技術移転を担当。2016年から現行プロジェクトでツタンカーメン王の儀礼用ベッドとチャリオツ(二輪馬車)の保存修復を率いている。また日本国内でも奈良県の仏像調査に携わる。



©JICA/GEM

◆谷口 陽子氏(筑波大学 准教授)

壁画保存修復部門担当

筑波大学で考古学、東京藝術大学大学院で文化財の保存科学を学ぶ。アメリカ・ゲティ保存研究所、東京藝術大学、マルタ・国立修復センター調査科学部に勤務後、東京文化財研究所文化遺産国際協力センターで特別研究員となる。アフガニスタン・バーミヤーン遺跡、トルコ・カッパドキア遺跡、インド・アジャンター石窟、中国・敦煌莫高窟、キジル千仏洞など世界各地で壁画調査・保存修復に携わる。2005年から大エジプト博物館保存修復センターの人材育成事業に関わる。2008年からは、筑波大学に勤務する傍ら、古王国イニ・スネフェル・イシュテフの壁画修復を率いている。



©JICA/GEM

◆中村 三樹男氏((一財)日本国際協力センター(JICE))

プロジェクト総括

1970年に海外技術協力事業団(当時)に入団し、英国事務所長、エジプト事務所所長などを歴任。2004年にJICA退職後も人材育成分野の専門家としてカンボジアやエジプトで技術協力事業に携わる。2019年にはJICA関西が実施したトルコの文化財を自然災害から保護するための研修にアドバイザーとして参加。現在は日本国際協力センター(JICE)において、大エジプト博物館合同保存修復プロジェクトの総括としてチーム全体を仕切っている。



©JICA/GEM

【JICA 協力概要】

「大エジプト博物館」は、単一文明をテーマとする世界最大級の博物館として JICA の円借款支援により建設が進められています。併せて、JICA は博物館の展示品を保存修復する技術支援「大エジプト博物館合同保存修復プロジェクト」を実施しており、本セミナーにはそのプロジェクトの専門家が登壇します。

【関連リンク】

・「大エジプト博物館合同保存修復プロジェクト」(技術協力)ウェブサイト:<https://www.jicagem.com/?lang=ja>

・「大エジプト博物館合同保存修復プロジェクト」のあゆみ(PDF):

https://www.jica.go.jp/project/egypt/0702247/materials/ku57pq00001uuncu-att/GEM-CC_ja.pdf

・「大エジプト博物館建設事業」(円借款):<https://www.jica.go.jp/oda/project/EG-P40/index.html>

・「JICA の大エジプト博物館合同保存修復プロジェクトチームが読売国際協力賞を受賞」(2020年11月2日):https://www.jica.go.jp/press/2020/20201102_30.html